

安全上のご注意 (必ずお守り下さい)

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。安全に関する重大な内容です。ご使用前にお読みになり、必ずお守りください。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区別し、説明しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区別し、説明しています。

 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

 禁止	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
 強制	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

危険

 禁止 火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置をしない 発熱、発火、破裂の原因となります。	 ぬらさない 発熱、発火、破裂の原因となります。 ぬれ手禁止 ・水がかかった場合、電源プラグをコンセントから抜いてください。	 分解禁止 衝撃を与えない、分解・改造をしない 発熱、発火、破裂の原因となります。	 禁止 +端子と-端子を接触させない 発熱、発火、破裂の原因となります。
--	---	---	--

警告

 禁止 煙が出る、変なにおいがするなどの異常時は使用しない そのまま使用すると、発火、事故の原因となります。 ・電源プラグをコンセントから抜いて販売元へ修理をご依頼ください。	 禁止 開口部から金属類や異物を入れない 火災、感電の原因となります。 ・内部に金属類や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売元へ修理をご依頼ください。	 注意 電源プラグは根元まで確実に差し込む 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。 ・傷んだプラグ、ゆるんだソケットは使用しないでください。	 ぬれ手禁止 ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない 感電の原因となります。
 注意 蓄電池の液もれや異臭がしたら使用をやめる 蓄電池は内部に希硫酸を保持しています。漏液し皮膚や衣服に付着した時は直ちに多量の水で流してください。目に入った場合は、すぐに多量の水水道水などのきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。希硫酸が目に入ると失明、皮膚につくと火傷の原因となります。	 禁止 電源コード・プラグを破損するようなことはしない 傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。 ・コードやプラグの修理は、販売元へご依頼ください。		

注意

 禁止 幼児の手の届くところに置かない けがなどの事故の原因となることがあります。	 注意 常に充電し蓄電池の電圧をチェックしてお使いください。
	 注意 無線機金具の取付は本装置同梱のビスをお使いください。

故障の場合は販売店に連絡ください
(右の欄に記入されると便利です)

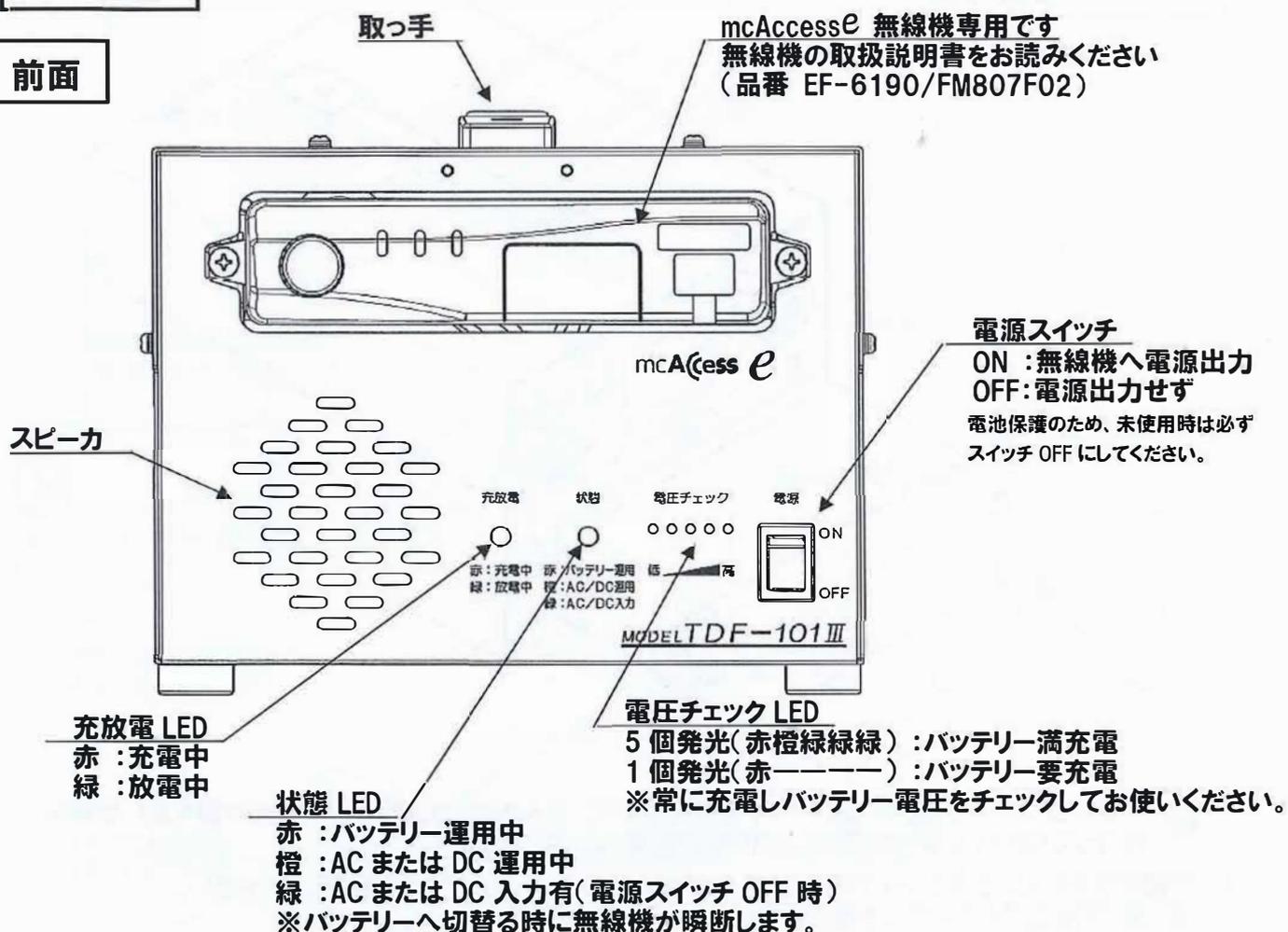
(製造元) トム通信工業株式会社

販売店名

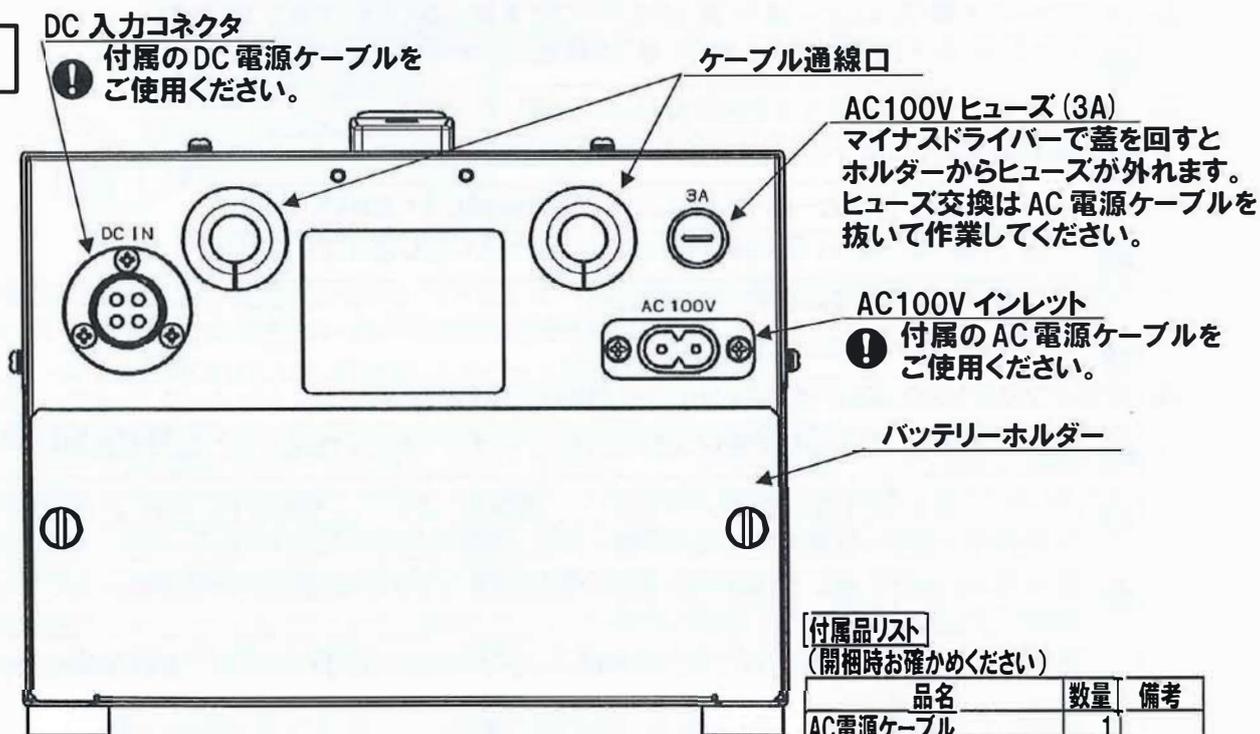
TEL () -

外觀説明

前面



背面



付属品リスト

(開梱時お確かめください)

品名	数量	備考
AC電源ケーブル	1	
DC電源ケーブル	1	
無線機金具取付ビス	3	M5-10
取扱説明書	1	本書

※安定した水平な場所に設置してご使用ください。

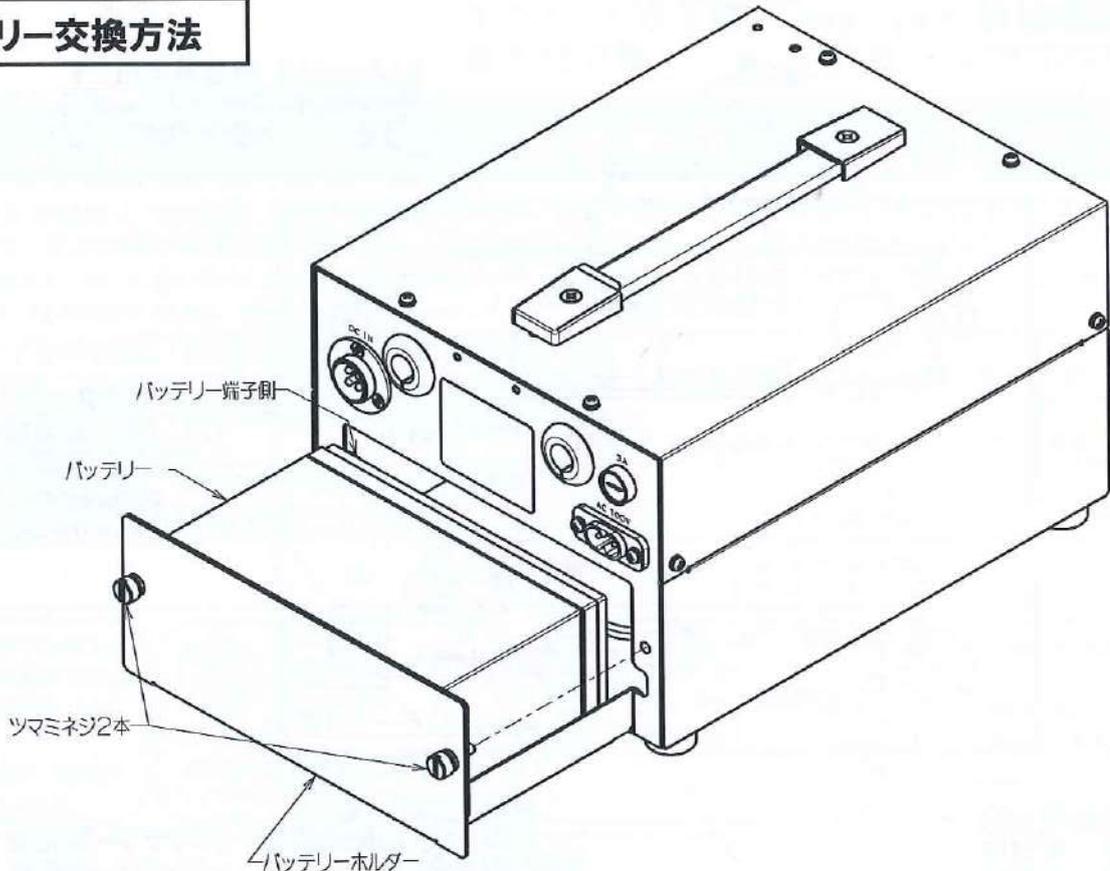
株式会社エクセリ

東京都中央区日本橋浜町 2-30-1 / 大阪府大阪市中央区久太郎町 1-9-5

URL : <https://www.exseli.com/>

TC0J0057MG

バッテリー交換方法



❗ 必ず電源コードを抜き、電源スイッチを OFF にして、ゴム手袋・ゴム靴などの安全対策を施し作業を行ってください。安全対策なしの作業は感電の原因となります。

- ① 背面のツマミネジ 2 本をマイナスドライバーで緩め、バッテリーホルダーを引き出してください。

⚠ 強く引き出すとケーブルを傷めますのでゆっくり引き出してください。

- ② バッテリーの+端子(赤)と-端子(黒)からケーブルを真っ直ぐ引いて外してください。

❗ バッテリーの+端子(赤)と-端子(黒)は絶対にショートさせないでください。

- ③ 上図のようにバッテリー端子の向きを合わせて交換してください。

❗ 重量物ですので落下などでケガをせぬようご注意ください。

- ④ バッテリーの+端子(赤)と-端子(黒)にケーブルを接続してください。

❗ +端子(赤)と-端子(黒)を間違えないよう真っ直ぐ差し込んでください。

- ⑤ バッテリーホルダーを本体に収納してください。

❗ ケーブルを挟み込まぬようご注意ください。

- ⑥ 背面のツマミネジ 2 本をマイナスドライバーで締め付けてください。

❗ バッテリーを外したままの使用は出来ません。バッテリー無しで使用すると故障の原因になります。

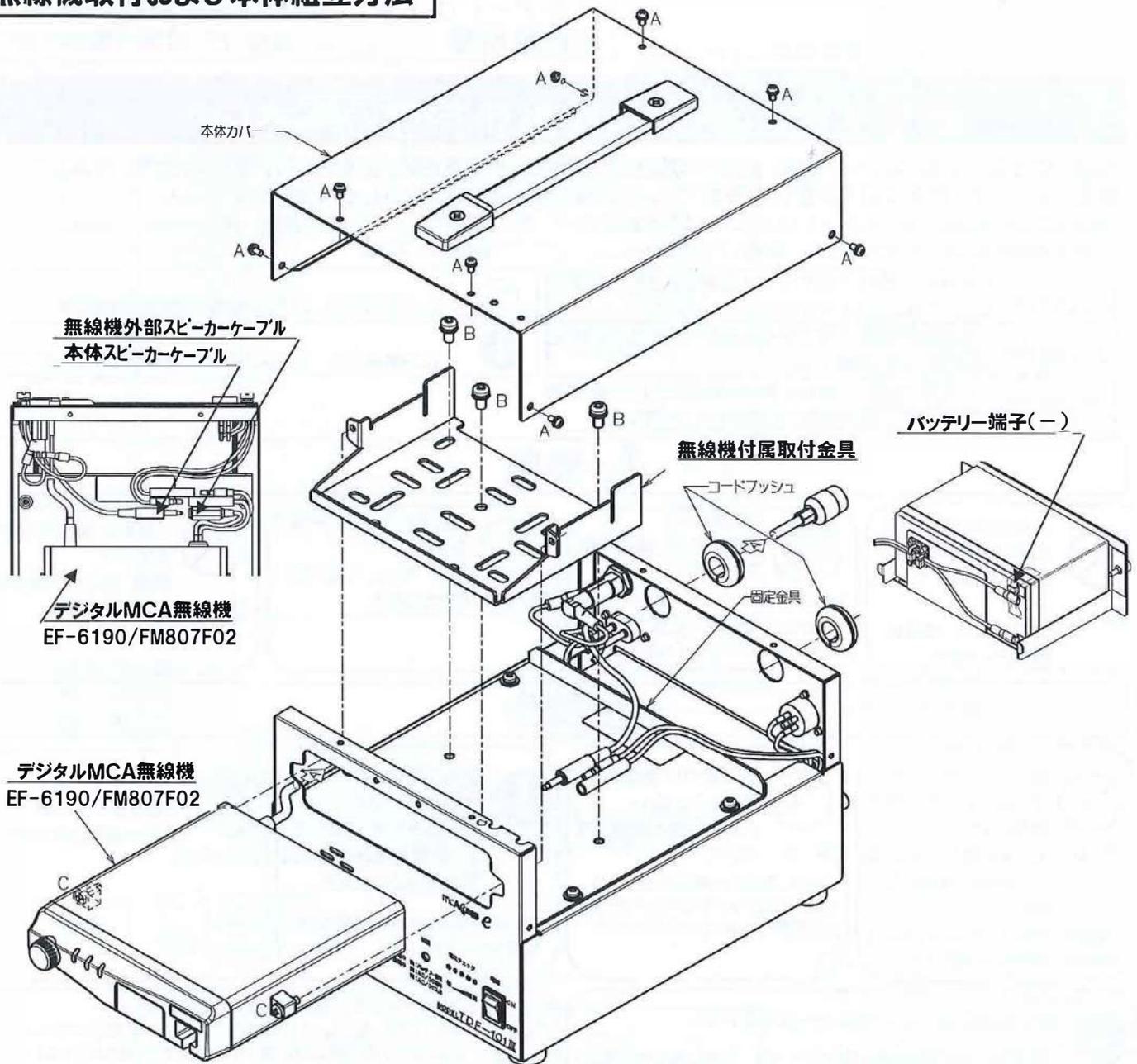
❗ バッテリーは 2 年以内に交換してください。推奨品: NP7-12 または PE12V7.2 (GS ユアサ製) 交換時期を過ぎて使用した場合、漏液、火災、爆発などの原因となります。

❗ 使用済みバッテリーは、廃棄物として法の規程に則した適性な処理が必要です。処理については販売店にご相談ください。

⚠ 充電せず長期間装置を使用しない場合はバッテリーを外し保存ください。(過放電劣化の防止)

⚠ 充電しても電圧チェック LED 発光数が充電前と変化しない場合は電池寿命です。使い続けると危険ですのでバッテリーを交換してください。

無線機取付および本体組立方法



❶ 必ず電源コードを抜き、電源スイッチを OFF にして、ゴム手袋・ゴム靴などの安全対策を施し作業を行ってください。安全対策なしの作業は感電の原因となります。

- ① 本体カバーの M3 ビス(図中 A) 8 本を外してカバーを取り外してください。
- ② 固定金具[銀色]に EF-6190 付属取付金具[黒色]を M5-10mm ビス(図中 B) 3 本で固定してください。
- ③ デジタル MCA 無線機 EF-6190 を取付金具に前面からはめ込み左右ビス(図中 C)で固定してください。
- ④ バッテリーケーブル(黒色)の端子を留めているテープを外し、バッテリーの端子(-)へ確実に接続してください。
- ⑤ 無線機電源ケーブルのギボシ端子を赤線(+)・黒線(-)に間違えないように確実に嵌合してください。

❶ ギボシ端子の絶縁スリーブは金属部分が露出しないよう確実にかぶせてください。

- ⑦ 無線機アンテナなどのケーブルはコードブッシュを通して、背面穴から外部へ通してください。
- ⑧ 無線機外部スピーカーケーブルのジャックと本体スピーカーケーブルのプラグを確実に嵌合してください。
- ⑨ 本体カバーをケーブル挟み込みのないように注意して M3 ビス(図中 A) 8 本で取り付けてください。